

広島県名誉県民

いぶせますじ
井伏鱒二

明治31年2月15日福山市に生まれる。小説家。数多くのすぐれた作品を発表し、我が国近代文学史上、まれにみるユニークな文学を樹立。短編の名手とも呼ばれている。

代表作に「山椒魚」「ジョン万次郎漂流記」「本日休診」「漂民宇三郎」「黒い雨」などがある。

昭和41年 文化勲章受章

平成5年7月10日 逝去



なだ おひろきち
灘尾弘吉

明治32年12月21日佐伯郡大柿町に生まれる。昭和27年から31年間にわたり、衆議院議員として活躍。この間、文部大臣（6回）、厚生大臣（1回）を歴任、また、昭和54年には第61代衆議院議長に就任。全国社会福祉協議会会長として社会福祉の充実に努める。

昭和57年 勲一等旭日桐花大綬章受章

平成6年1月22日 逝去



おだ みきお
織田幹雄

明治38年3月30日安芸郡海田町に生まれる。昭和3年第9回オリンピック・アムステルダム大会の三段跳びにおいて15メートル21センチを記録し、我が国に初めての金メダルをもたらす。国際陸上競技連盟、日本陸上競技連盟の各役員を歴任、陸上競技の普及発展に努める。

昭和63年 文化功労者

平成10年12月2日 逝去



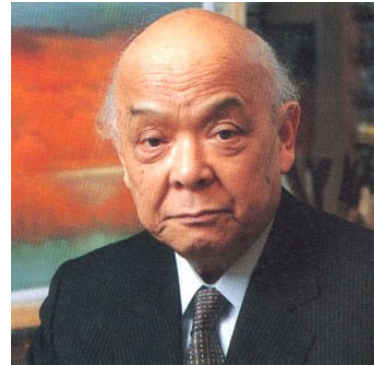
おくだげんそう
奥田元宋

明治45年6月7日双三郡吉舎町に生まれる。日本画家。近代ヨーロッパの色彩表現と水墨画の伝統を融合して、日本的風景画に精神性の高い独自の新朦朧体という表現方式を確立し、日本画壇の重鎮として、不動の評価を得る。

代表作に「待月」「磐梯」「秋山紅雨」「奥入瀬」などがある。

昭和59年 文化勲章受章

平成15年2月15日 逝去



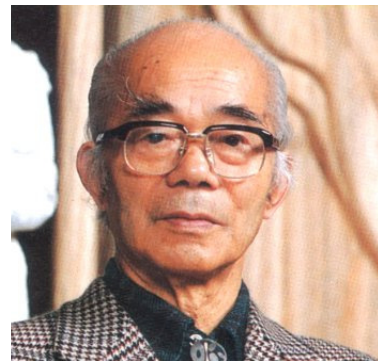
えんつばかつぞう
圓鐔勝三

明治38年11月30日御調郡御調町に生まれる。彫刻家。木彫を基調としながら、石、ブロンズ、樹脂など多様な素材を駆使し、他に類のない独自の領域を開拓。現代感覚の表現に抜群の新鮮さを持つ作風は、高い評価を得ている。

代表作に「星陽」「しろうさぎ」「土器を持つ女」「旅情」などがある。

昭和63年 文化勲章受章

平成15年10月31日 逝去



おかだよしお
岡田善雄

昭和3年3月10日呉市に生まれる。大阪大学名誉教授。昭和32年、世界で最初に、細胞融合に関する論文を発表。生体外における細胞融合の条件の決定やヒトをはじめ広範囲の細胞どうしをセンダイウイルスにより融合させることができることなどを知見し、細胞融合法を、新しいバイオテクノロジーの大きな柱として確立する道を開く。

昭和62年 文化勲章受章

平成20年1月16日 逝去



ひらやまいく お
平山郁夫

昭和5年6月15日豊田郡瀬戸田町に生まれる。
日本画家。仏教を主題にした幻想的な作風を確立し、
シルクロードシリーズなどの連作で日本画壇に清新
の境地を開拓するとともに、アンコール遺跡をはじめ
とする世界各地の文化遺産の保護活動に尽力。

代表作に「仏教伝来」「入涅槃幻想」「広島生変図」
「祇園精舎」などがある。

平成10年 文化勲章受章

平成21年12月2日 逝去



あがわひろゆき
阿川弘之

大正9年12月24日広島市に生まれる。小説家。
昭和という激動の時代に遭遇した人間の悲哀を浮き
彫りにした作風により、文学界に独自の分野を開拓
し、その卓識と丹精な文体は多くの読者の敬愛を集
めている。

代表作に「春の城」「雲の墓標」「山本五十六」「志
賀直哉」などがある。

平成11年 文化勲章受章



いのくちひろお
井口洋夫

昭和2年2月3日広島市に生まれる。東京大学名
誉教授。昭和25年、有機半導体の概念を発見した。
それまで絶縁体とされていた有機化合物に電気を
導くものがあることを発見し、これを電気電子材料
として用いるという全く新しい発想のもとに、現在
の分子エレクトロニクスに至る広大な分野を開拓・
先導してきた。

平成13年 文化勲章受章



しんどうかねと
新藤兼人

明治45年4月22日広島市に生まれる。シナリオ作家・映画監督。一貫して人間の内面をテーマとした作品づくりに当たり、数多くの名作・話題作がある。その根底にある人間に対する深い信頼と愛情で、多くの人々に幅広い共感を得ている。

代表作に「原爆の子」「裸の島」「竹山ひとり旅」「午後の遺言状」「三文役者」などがある。

平成14年 文化勲章受章

平成24年5月29日 逝去



みやざわ きいち
宮澤喜一

大正8年10月8日に生まれる。昭和28年参議院議員に初当選、昭和42年からは衆議院議員として連続12回当選。この間、内閣総理大臣をはじめ、大蔵大臣、経済企画庁長官などの要職を歴任するなど、50年にわたり、国政をリード。政治・経済・外交の指導者として、わが国の繁栄と世界平和の推進に努める。

平成15年 福山市名誉市民

平成19年6月28日 逝去



みやけいっせい
三宅一生

昭和13年4月22日広島市に生まれる。衣服デザイナー。平面である布と立体としての身体との関係を独自の眼で捉え直し、「一枚の布」という画期的な衣服づくりの概念を世界に広めた。長年にわたり常に第一線でファッション界をリードするとともに、日本のみならず世界各地で活躍し、国際的にも高い評価を獲得している。

平成22年 文化勲章受章



※広島県ホームページ「広島県名誉県民」による

(<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kennsyou/1168847256781.html>)